



元気っ子

No.246 ながさわ保育園

平成 30 年 2 月号

園 長 市 川 温 予

平成29年度のおゆうぎ会も無事に終わりました。今日1月29日(月)は、どの子どもお部屋のコーナーでゆったり、のんびり遊んだり、雪景色の中お散歩に出かけたりと大きな行事を終えてほっとした表情や達成感が先生達や子ども達から感じられます。保護者の皆様には、雪が降り積もった中、朝早くから文化会館前に並んでいただいたり、開演時間の変更等、いろいろとご協力をいただきありがとうございました。また、おゆうぎ会翌日にはたくさんの感想をいただき、私達にとって嬉しく、これからの保育にとっても励みになりました。

さて、おゆうぎ会を終えた子ども達はひとつの大きな山を越え、ひとまわりもふたまわりも成長したように思います。園長挨拶でもお話をさせていただきましたが、子ども達は本当に無限の力を持っています。大きな舞台上でたくさんの観客の方の前で堂々と踊ったり、演じたりと子ども達の力のすごさを感じました。うさぎ組(2歳児)のりんごやおすしに変身した可愛らしさ、余裕のある笑顔、上手に踊っていてほんとは見えて微笑ましかったです。また、異年齢クラスのダンスや劇は、普段一緒に生活している仲間同士が助け合い、小さい子が大きい子に頼ったり、大きい子に身をまかせて安心している姿、そして逆に小さい子がいることで大きい子も頑張らないとという思いが強くなる子とお互いにいい刺激、育ち合っている姿を見ていただけたと思います。まだまだ生まれて数年の子ども達です。自分のことで精一杯なはずなのに周りに目や心に向け、気遣う優しい気持ちで育っていると感じる場面がいくつかありました。そういう場面を見ていると胸があつくなります。異年齢集団保育の良さだと思います。

クラスみんなでおゆうぎ会に向けて取り組み、出来なかったことが出来るようになった楽しさ、遊びの中で何かになりきる楽しさ、大勢の前で演じる緊張感と楽しさ、満足感や爽快感、そんな楽しさを子ども達は身体全身で体感、体得したと思います。それは本当に大切なことです。

今年もたくさんの感動と幸せな気持ちを子ども達、先生達からいっぱいもらいました。また、おゆうぎ会翌日登園してきた子ども達が“上手やった、かっこよかった、歌がすごくきれいな声やった”、とお父さん、お母さんにほめてもらったと嬉しそうに話す子が多かったです。お家の方にほめられることが一番嬉しいことだし、それは子どもの心にじかに働きかけ、心が強く成長していくバネになっていきます。

このおゆうぎ会は大人にとっても子ども達にとっても学びの多い時間を過ごせたと思います。

これからも毎日の生活の中で一人ひとりが自己発揮できる環境づくりをし、卒園、進級に向けて丁寧に毎日の生活を積み重ねていきたいと思っています。

また、みんなの心がゆったりと、楽しく、のびのびと過ごせたらいいなあと思っています。まだまだ寒さが続きますので、お子さんの体調管理をよろしくお祈りいたします。